

NPO法人とくしまコウノトリ基金の取組

今期の主な取組

地域の関係者と連携・協働しながら、各種の取組を進めています。

◆鳴門市堀江北小学校での環境学習

- ・2021年度に引き続き、堀江北小学校4年生28名を対象に、コウノトリやビオトープを活用した授業(全7回)が実施された。
- ・2022年11月24日には、栃木県小山市の下生井小学校とオンラインで交流授業を行った。



[画像提供: NPO法人としまコウノトリ基金]

今期の主な取組

地域の関係者と連携・協働しながら、各種の取組を進めています。

◆コウノリ親子観察会

- ・2022年6月4日に環境首都とくしま創造センター(エコみらいとくしま)とNPO法人とくしまコウノリ基金の連携のもと、観察会が開催された。



[画像提供:環境首都とくしま創造センター(エコみらいとくしま)]

◆さわれるコウノリのはく製の展示

- ・2022年11月12-13日の本家松浦酒造蔵開き2022で、コウノリのはく製を展示した。他に、コウノリのお米やれんこん茶、れんこんカレー等のPRも実施した。



[画像提供: NPO法人とくしまコウノリ基金]

◆トンボ観察会

- ・2022年8月1日、22日にアオアヲナルリゾートとの連携イベント「～陸の豊かさも守ろう～真夏のトンボ観察会」、8月27日にコープ自然派しこくとの連携イベント「夏休み！！田んぼでトンボを捕まえて調べよう♪」が、島田島でコウノリ・ツル類の生息環境づくりを行っているビオトープで開催された。



[画像提供: NPO法人とくしまコウノリ基金]



[画像提供: NPO法人とくしまコウノリ基金]

◆ビオトープ米でお酒をつくるプロジェクト

- ・3年目となるビオトープ米でお酒をつくるプロジェクトがスタートし、6月1日、10日に田植えが実施された。



[写真提供: NPO法人とくしまコウノトリ基金]

◆新たな観光商材づくり

- ・株式会社休日ハックと連携し、コウノトリに関する地域の物語や観光ガイド、謎解きなどが一体となったガイドブックの制作を進めている。ガイドブック(税込1,100円)は、アオアヲ ナルト リゾート、モアナコースト、公園水野、道の駅くるくるなると、本家松浦酒造で販売し、売上の一部は、とくしまコウノトリ基金に寄付される。



[画像提供: NPO法人とくしまコウノトリ基金]

◆コウノトリのお米「朝と夕」の販売開始

- ・2022年11月より、鳴門市の「いせや農場産直市場」「アオアヲナルトリゾート売店」「農産物直売所えがお」にて試験販売を開始した。農薬使用量5割減、化学肥料使用量1割以下で育てられた、生き物にも人にもやさしいお米。このお米で3年目のコウノトリのお酒「朝と夕」を仕込み、春頃から販売開始予定である。



[画像提供: NPO法人とくしまコウノトリ基金]

島田島でのコウノトリ・ツル類の生息環境づくり

鳴門市瀬戸町島田島では、水田に古代のハスとして知られる「大賀ハス」を植え、観光資源として活用しています。また、コウノトリが短期間ながら複数回飛来しています。2021年11月以降はナベヅルの平面型デコイを設置し、自動撮影カメラでモニタリングを行っています。また、2022年2月には地域住民による「島田島にコウノトリを呼ぶ会」が結成され、とくしまコウノトリ基金と連携し、耕作放棄地のビオトープ整備を行っています。



耕作放棄地を活用したビオトープ



アオサギの利用



サギ類、カモ類の利用



耕作放棄地を活用したビオトープの整備作業



ビオトープの整備後の様子



2シーズン目の整備として2022年12月から草刈り、ヨシ焼き、2023年1月からトラクター耕耘を実施

[写真提供：NPO法人とくしまコウノトリ基金]